

令和9年度

東北医科薬科大学大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程

学生募集要項

一般入学試験

(一次募集・二次募集)

社会人入学試験

目 次

- P.1 ディプロマポリシー,カリキュラムポリシー,アドミッションポリシーについて
- P.2 入試日程
- P.2 募集分野
- P.2 出願手続等
- P.4 納付金
- P.4 問合わせ先
- P.5 主な研究テーマ
- P.7 一般入学試験
- P.9 社会人入学試験

【 薬学専攻博士課程 】

薬学専攻は、薬剤師を目指し医療の現場で活躍する人材の養成を主たる目標としている学部6年制「薬学科」の上に、平成24年4月に設置された博士課程（4年制）です。本専攻のディプロマポリシー（学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入方針）は以下のとおりです。

○ ディプロマポリシー

本学の教育理念に基づく教育課程の講義、研修、演習、課題研究を通して、以下に示す薬学や生命科学を中心とする専門分野における自立した研究者としての能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士学位論文の審査に合格した学生に学位（博士（薬学））を授与します。

1. 薬学・生命科学分野の専門的知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。
2. 自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている。
3. 研究者、教育者、薬剤師としての高い倫理観を備えている。
4. 生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことができる。

○ カリキュラムポリシー

1. 臨床的課題の探究と解決

高度先進医療の中で臨床的課題を見出し、薬学の高度な知識と技術を活用し、創薬研究を含めた医療への応用研究を行う。

2. 臨床薬学研修を通じての薬物治療の実践的能力と臨床的課題解決能力の修得

医療機関での「臨床薬学研修Ⅰ」を選択必修科目とする。診療の現場に主体的に参画することで、臨床薬剤師に必要とされる薬物投与設計、薬効・副作用評価に関する実践的能力を修得する。また、担当症例における臨床経過を論文形式でまとめることで、臨床疑問・臨床課題を抽出し、専門的・学術的視点で考察できる能力を修得する。

3. 基礎薬学的な研究力の修得

「演習ゼミナールⅠ」を選択必修科目とする。薬科学専攻の協力研究室と連携することで、それぞれの研究室が主宰する基礎薬学研究を通じ、研究課題の抽出、研究戦略の立案とその実施、課題の解決といった一連の研究力を修得する。

上記3つのカリキュラム・ポリシーに基づく教育は、必修科目および選択科目の履修、並びに選択必修科目の履修を通じて実施される。ディプロマ・ポリシーで掲げる4つの能力を修得しているかを、試験やレポート、グループ討論・発表・質疑応答の態度や内容、および研究論文の完成度などにより総合的に評価を行う。

○ アドミッションポリシー

これからの高度先進医療を支え、将来、医療薬学分野での活躍を目指し、研究に意欲のある薬剤師を求めています。薬学部の6年制学科を卒業し薬剤師免許を有している者及び旧課程では薬剤師免許を有し、大学院博士前期課程（修士課程）を修了している者を対象としています。

1. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
一般入学試験 (一次募集)	令和8年7月21日(火) ～ 令和8年7月24日(金)	令和8年8月20日(木)	令和8年9月3日(木)
一般入学試験 (二次募集)	令和9年1月18日(月) ～ 令和9年1月22日(金)	令和9年1月28日(木)	令和9年2月12日(金)
社会人入学試験			

2. 募集分野

専攻科目	<ul style="list-style-type: none">・臨床分析化学・医薬情報科学・薬剤学・天然物化学・放射薬品学・機能病態分子学	<ul style="list-style-type: none">・環境衛生学・病院薬剤学・臨床薬剤学・機能形態学・分子衛生化学	<ul style="list-style-type: none">・薬理学・薬物治療学・医薬合成化学・細胞制御学・微生物	<ul style="list-style-type: none">・生薬学・臨床感染症学・糖鎖構造生物学・生化学
	以上 20 研究室			

* 募集分野の研究テーマについては、P.5「6. 主な研究テーマ」をご確認ください。

3. 出願手続等

(1) 出願期間

上記1. 入試日程の通り。

(2) 提出先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課 宛

郵送の場合は、必ず書留郵便とし「薬学専攻博士課程願書在中」と朱書きすること。

【持参の場合】 受付時間は平日午前9時から午後5時15分までとする。

(3) 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

提出書類	一般入学試験	社会人入学試験
① 入学志願票(本大学院所定の用紙)	○	○
② 健康診断書 本学在學生は健康診断証明書。	○	○
③ 卒業(見込)証明書 修士課程を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。	○	○
④ 学部成績証明書 修士課程を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。	○	○
⑤ 入学検定料(35,000円) 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。	○	○
⑥ 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度) 各選考の出願資格(2)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑦ これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由) 各選考の出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑧ 所属長等の受験許可書(形式自由)		○
⑨ 所属長等の推薦書(形式自由)		○
⑩ 本大学院が選考に必要と判断した書類 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。	○ (指示のある場合のみ)	○ (指示のある場合のみ)

(4) 出願上の注意事項

- ① 出願書類の請求は東北医科薬科大学学務部教務課宛に返信用として180円分の切手を同封のうえ、申込むこと。
- ② 出願書類を郵送する場合は受験票を本人宛に郵送するので、返信用として110円分の切手を同封すること。
- ③ 志願者は、希望研究室責任者と必ず事前に相談すること。
- ④ 志願票の志望教室記入欄は、第1、第2希望の研究室まで記入すること。
- ⑤ 募集要項の詳細については東北医科薬科大学学務部教務課まで問い合わせること。

(5) 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている個人情報は、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理のために使用される。

(6) 長期履修制度

本学の規定により、長期履修制度を申請することが出来る。申請については、学務部教務課へ問い合わせること。

*長期履修制度とは、就業、育児、介護等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認める制度である。

4. 納付金

令和9年度入学者 納付金一覧表

	博士課程	摘要
入学検定料	35,000円	
入学金	200,000円 (100,000円)	入学時のみ納入
授業料	400,000円 (200,000円) ※1	年額

※1. 本学に勤務する職員が本学大学院に社会人入学した場合、当該者からの減免願の申請に基づき、授業料の半額を免除する。ただし、減免の期間は、標準修業年限とする。

5. 障がいのある入学志願者について

志願者のうち、受験および就学上において特別な配慮を必要とする者は、出願前に学務部教務課まで相談すること。

6. 問い合わせ先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課

TEL:022-234-4181 FAX: 022-275-2013

6. 主な研究テーマ

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔臨床分析化学〕 教授 藤村 務	<ul style="list-style-type: none"> 臨床領域におけるバイオマーカーの探索 マルチオミクス解析を利用したバイオマーカーの探索 ステロイドホルモンの超高感度分析法の開発ならびに体内動態の解析への応用 電気化学センサー（バイオセンサー）の開発
〔環境衛生学〕 教授 黄 基旭	<ul style="list-style-type: none"> 種々の化学物質による毒性発現機構の解析 メチル水銀による炎症応答を介した脳神経傷害機構の解析 異物代謝に影響を及ぼす環境因子の検索と作用機構解析 生体防御に関わる新規因子の検索とその機能解析 生体防御機能亢進作用を有する新しい医薬品の開発
〔薬理学〕 教授 丹野 孝一	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄疼痛伝達機構におけるアンジオテンシン系の役割の解明 精神疾患モデル動物を用いた病態メカニズム解明と治療薬開発 睡眠と食習慣から全身の健康を考えるー生活習慣病モデルを用いたオーラルフレイルの機序解明ならびに治療標的の同定と予防法の確立ー 膜結合型プロテアーゼADAM分子による疼痛制御機構の解明
〔生薬学〕 教授 佐々木 健郎	<ul style="list-style-type: none"> 漢方方剤とその構成生薬の有効成分及び作用機序の解明 モンゴル薬用植物及び東北地方の薬用植物における有用成分の探索と有効利用に関する研究 植物由来の機能性分子を応用した新規保健衛生用品及び医薬品の開発
〔医薬情報科学〕 教授 村井ユリ子	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品情報のビジュアル化による各種医薬品情報の体系的解析と臨床応用 機械学習(人工知能)手法を応用した各種臨床検査測定値の組み合わせによる新スクリーニング法の開発および病勢マーカーの創出 レセプト情報、特定健診等情報データベースをはじめとした各種医療オープンデータの探索的解析
〔病院薬剤学〕 教授 岡田 浩司	<ul style="list-style-type: none"> 診療情報および医療ビッグデータを用いた薬物治療の有効性・安全性・経済性評価に関する研究 医療現場における医薬品安定性の科学的解析と臨床応用を目指した研究 薬物血中濃度を指標とした投与設計の個別化に関する研究 薬剤師によるフィジカルアセスメントに基づく薬物治療の新規評価方法の確立
〔薬物治療学〕 教授 菅野 秀一	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品による臓器障害発現メカニズムと防御に関する研究 新規抗がん物質の探索と細胞障害発現のシグナル伝達機構の解明 分子標的治療薬による筋炎発現機構の解明
〔臨床感染症学〕 教授 藤村 茂	<ul style="list-style-type: none"> 難治性の細菌感染症に対する新しい抗菌化学療法の開発 各種細菌に対する新しい殺菌システムの構築 抗菌化学療法における耐性菌出現メカニズムの基礎的・臨床的研究
〔薬剤学〕 教授 我妻 恭行	<ul style="list-style-type: none"> 痛みの生理の解明とオピオイドの鎮痛作用に関する薬理学的研究 掻痒のメカニズムの解明と抗掻痒薬の薬理学的および製剤学的研究 医薬品の保管状態による成分安定性に関する研究
〔臨床薬剤学〕 教授 村井ユリ子	<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析液中における抗菌薬の安定性と有効性評価 医薬品の服用方法と食品・飲料との相互作用に関する研究 在宅での薬の保管環境が品質に与える影響の評価
〔医薬合成化学〕 教授 渡邊 一弘	<ul style="list-style-type: none"> 創薬を指向した生物活性天然物の全合成 生物活性物質の合成を目指した新反応の開発 新しい分子標的（難治性疾患など）に対する制御物質の設計・合成・活性評価最適化に関する研究（医薬品候補化合物の開発） 民間企業と連携したサプリメントの合成と実用化研究

<p>〔糖鎖構造生物学〕 教授 山口 芳樹</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖鎖構造多様性の生物学的意義の探求 ・糖鎖構造生物学を推進するための方法論の開拓 ・糖鎖の受容と情報伝達のメカニズム解明と薬物設計への応用 ・糖タンパク質合成・糖鎖構造制御技術の開発と医薬品開発への応用
<p>〔天然物化学〕 教授 内田 龍児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物創薬を基盤とした天然資源由来新規生物活性物質の探索 ・微生物間相互作用（共生培養）を用いた新規天然物の創出 ・LC-MS を用いた希少微生物資源の網羅的化學プロファイリングによる天然化合物ライブラリーの構築 ・カイク感染モデルを用いた <i>in vivo</i> 薬効・毒性・薬物動態の統合的評価 ・天然資源由来生物活性物質の作用機序解析および耐性克服機構の解明
<p>〔放射薬品学〕 教授 山本 文彦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子ミセルを用いた核医学分子イメージング剤および核医学治療剤の開発 ・腫瘍特異的集積を志向した低分子放射線治療剤の設計・合成と評価 ・低分子リード化合物を用いた新規分子イメージング剤開発と機能評価 ・生体レドックス動態を反映する分子イメージングプローブの創製 ・放射線耐性細胞の増殖能獲得メカニズムの解明
<p>〔機能形態学〕 教授 溝口 広一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・副作用の少ない新規強力鎮痛薬の開発 ・μ オピオイド受容体スプライスバリエントの機能解析 ・難治性疼痛発現機構の解明 ・難治性内臓痛の病態解明と治療薬の開発 ・搔痒のメカニズム解明と特異的治療薬の開発
<p>〔細胞制御学〕 教授 顧 建国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん細胞増殖・転移・浸潤に関わる糖タンパク質受容体の糖鎖機能の解析 ・がん薬剤耐性および血液腫瘍細胞分化における糖鎖の機能に関する研究 ・疾患モデルマウスを用いて糖鎖の機能とその応用の研究 ・心筋細胞分化における糖鎖の変化とその意義に関する研究
<p>〔生化学〕 教授 関 政幸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・真核細胞の DNA 複製・修復・組換えの研究 ・相乗効果を生む抗がん剤の組み合わせの探索と評価 ・染色体レベルでの大規模なゲノム編集を行う技術の開発 ・AIを用いた染色体解析の研究
<p>〔機能病態分子学〕 教授 稲森啓一郎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スフィンゴ糖脂質分子種による炎症性シグナル制御機構の研究 ・炎症性疾患におけるスフィンゴ糖脂質の病態生理的役割の解明 ・糖脂質合成酵素の発現・活性制御機構の研究 ・糖脂質合成酵素遺伝子変異による疾患の分子機構解析
<p>〔分子衛生化学〕 教授 佐々木雅人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝関連遺伝子異常による発がん・がん進展機構の研究 ・細胞内代謝産物量変化が細胞機能にもたらす影響の解析 ・病原性真菌の細胞壁多糖構造の解析 ・真菌細胞壁多糖の構造制御機構とその意義に関する研究
<p>〔微生物学〕 教授 三木 剛志</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・腸管系病原細菌の感染メカニズムに関する研究と新たな感染制御法の分子基盤の確立 ・クローン病関連大腸菌の腸管内定着メカニズムに関する研究 ・病原体感染における腸上皮由来抗菌レクチンの役割の解明 ・細胞内酸化ストレス反応に関する研究

I 一般入学試験

1. 募集人員 3名

2. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
一次募集	令和8年7月21日(火) ～ 令和8年7月24日(金)	令和8年8月20日(木)	令和8年9月3日(木)
二次募集	令和9年1月18日(月) ～ 令和9年1月22日(金)	令和9年1月28日(木)	令和9年2月12日(金)

3. 出願資格

＜薬剤師免許を有する者または取得見込の者で、かつ次のいずれかに該当する者＞

- (1) 大学（医学、歯学、獣医学又は薬学のうち、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする修業年限6年の学部又は学科に限る。）を卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 修士の学位又は専門職学位を授与された者（令和9年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（令和9年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（令和9年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（令和9年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年4月1日時点で24歳に達したもの

※1 (2)～(6)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格(7)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和8年6月12日(金)（一次募集）、令和8年12月11日(金)（二次募集）迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書： 本学在学学生は健康診断証明書。
- (3) 卒業(見込)証明書： 修士課程等を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書： 修士課程等を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)： 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)： 修士論文またはそれに相当するものがある場合のみ
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)： 研究歴を有している者のみ(大学院での研究を含む)
- (8) 本大学院が選考に必要と判断した書類： 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入学者選考方法

(1) 選考方法

外国語(英語)の筆記試験、小論文および面接を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
(一次募集) 令和8年8月20日(木)	9:00 ~ 10:00	外国語(英語)	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1
(二次募集) 令和9年1月28日(木)	10:30 ~ 12:00	小論文	
	13:00 ~	面接	

6. 奨学金制度、リサーチ・アシスタント制度

日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学リサーチ・アシスタント制度に応募することが出来る。
奨学金については学生課、リサーチ・アシスタントについては庶務課へ問い合わせること。

Ⅱ 社会人入学試験

1. 募集人員 若干名

2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日
令和9年1月18日(月) ～ 令和9年1月22日(金)	令和9年1月28日(木)	令和9年2月12日(金)

3. 出願資格

<薬剤師免許を有する者に限る>

研究機関、企業、病院など同種の業種において1年以上（入学時点）勤務しており、入学後も所属長等の許可を得て、引き続き在職できる者で、かつ次のいずれかの条件を満たしている者

- (1) 大学（医学、歯学、獣医学又は薬学のうち、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする修業年限6年の学部又は学科に限る。）を卒業した者
- (2) 修士の学位又は専門職学位を授与された者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年4月1日時点で25歳に達したもの

※1 (2)～(6)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格(7)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和8年12月11日(金)迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書
- (3) 卒業(見込)証明書：修士課程等を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書：修士課程等を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)：出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)：修士論文またはそれに相当するものがある場合のみ
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)：研究歴を有している者のみ(大学院での研究を含む)
- (8) 所属長等の受験許可書(形式自由)
- (9) 所属長等の推薦書(形式自由)
- (10) 本大学院が選考に必要と判断した書類：提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入学者選考方法

(1) 選考方法

小論文および面接を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
令和9年1月28日(木)	10:00 ~ 12:00	小論文	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1
	13:00 ~	面接	

